

名取市歴史民俗資料館年報

— 令和6年度 —



2025年 11月

名取市歴史民俗資料館

名取市歴史民俗資料館年報

— 令和6年度 —



2025年 11月

名取市歴史民俗資料館

目次

I. 施設の目的	1
1. 施設の目的	1
II. 事業概要	1
1. 事業概要と利用状況	1
(1) 令和6年度の事業概要	1
(2) 利用状況	1
(3) 令和7年度の主な事業計画	2
2. 展示・公開	4
(1) 常設展示	4
(2) 企画展示	6
(3) 名取市図書館情報発信コーナー	8
3. 学習・交流活動	8
(1) 歴史スポットめぐり	8
(2) 資料館まつり	9
(3) 歴史講座	10
(4) 講演会	11
(5) 各種案内・マナビィ出前講座・展示解説案内	11
(6) 春の雷神山古墳イベント	12
(7) ボランティア（れきみんの会）	12
(8) 市内小学6年生（義務教育学校6年生）の訪問学習	13
4. 体験学習活動	14
5. 調査・研究活動	15
6. 資料管理・利用	15
7. 刊行物	16
III. 資料	17
1. 施設概要	17
2. 組織・職員体制	18
3. 予算	18
4. 条例・規則	18
5. 沿革	20
IV. 調査研究報告	21
名取市十三塚遺跡出土の弥生土器（補遺）	21

I. 施設の目的

1. 施設の目的

名取市歴史民俗資料館は、約2万年にわたる長い歴史の中で蓄積され、大切に受け継がれてきた歴史文化を、保存・活用するための拠点として整備されました。それらは郷土の歴史や成り立ち、先人たちの営みを知る上で欠かすことの出来ない国民共有の財産であり、永く後世へ受け継いでいく必要があります。当資料館では、この大きな目標の達成に向けて、以下の様な目的を持った活動を行っていきます。

- 1) 展示や歴史的な体験活動を通して、名取の歴史文化に触れる機会を提供します。
- 2) (郷土の歴史文化に関わる) 歴史的な体験などを通じて、歴史文化への興味関心を高めます。
- 3) 歴史文化やふるさとへの関心を高め、歴史文化の保存・活用を図ります。

II. 事業概要

1. 事業概要と利用状況

(1) 令和6年度 事業概要

令和6年度は、令和5年度以前に比べて来館者も徐々に増え、より活発に事業を行うことができました。ここで、令和6年度に実施した主な事業・活動について以下に概要をまとめました。

展示・公開事業としては、「考古の展示室」と「歴史・民俗の展示室」の常設展示と、計4回の企画展示を実施しました。企画展示は、今年度のメインテーマを「江戸時代」に関するものとし、テーマに応じてそれぞれ78日間で開催しました。

学習・交流事業としては、主に4つの事業を実施しました。1つ目の「歴史スポットめぐり」は、当館のフィールド施設である市内の歴史スポットを職員が解説しながらバスでめぐるもので、参加者の理解・関心を高める活動になりました。2つ目は10月に実施した当館最大のイベントである「資料館まつり」で、歴史文化に因んだ催しや体験活動、関連する団体等の活動成果を披露する機会提供の場となりました。3つ目は各種講座・講演会の事業で、「名取の歴史講座」の開催(4回)や、講演会(1回)、出前講座への講師派遣などを実施しました。4つ目は「ボランティア活動」で、歴史民俗資料館ボランティア(愛称:れきみんの会)が、来館者対応や自主企画事業として調査活動やイベントの企画・運営、展示解説を行いました。

体験学習事業としては、様々な体験活動を実施し、事前予約により実施したものと資料館まつりで随時実施したものの、依頼を受けて個別に実施したものを含め、計28回実施しています。

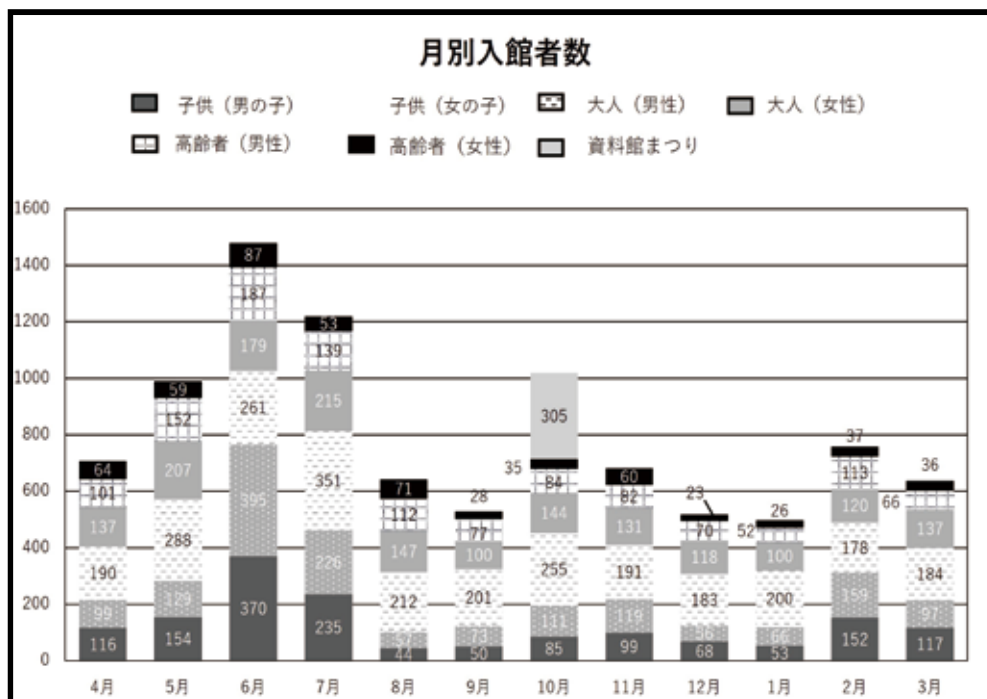
調査・研究事業は、体験学習メニューの充実を図るための検討や、まだ情報が少なく実態が判らない市内の遺跡等について、収蔵資料や新発見の資料などを整理して公開・活用するもので、成果は本年報に掲載しています。

(2) 利用状況

令和6年度の1年間における入館者数は、昨年度を上回る9,678人で、令和2年5月31日(日)のグランドオープンから令和7年3月末の総入館者数は延べ43,001人となっています。

月	子供 (男の子)	子供 (女の子)	大人 (男性)	大人 (女性)	高齢者 (男性)	高齢者 (女性)	外国人 (男性)	外国人 (女性)	資料館まつり	来館者	日平均	日数	開館日
4月	116	99	190	137	101	64	0	0		707	28	30	25
5月	154	129	288	207	152	59	0	0		989	37	31	27
6月	370	395	261	179	187	87	0	0		1479	57	30	26
7月	235	226	351	215	139	53	0	0		1219	47	31	26
8月	44	57	212	147	112	71	0	0		643	24	31	27
9月	50	73	201	100	77	28	0	0		529	21	30	25
10月	85	111	255	144	84	35	0	0	305	1019	38	31	27
11月	99	119	191	131	82	60	0	0		682	27	30	25
12月	68	56	183	118	70	23	0	0		518	22	31	24
1月	53	66	200	100	52	26	0	0		497	21	31	24
2月	152	159	178	120	113	37	0	0		759	30	29	25
3月	117	97	184	137	66	36	0	0		637	25	31	26

R2来館者	1139	1103	2263	1617	811	512	2	1	143	7591	30	305	251
R3来館者	1360	1434	2247	1562	728	340	0	0	312	7671	30	365	258
R4来館者	1688	1438	2450	1814	956	471	1	0	280	8818	29	365	308
R5来館者	1492	1310	2614	1910	1319	598	0	0	0	9243	30	366	310
R6来館者	1578	1620	2738	1817	1291	634	0	0	0	9678	32	366	307
合計	7257	6905	12312	8720	5105	2555	3	1	735	43001	151	1767	1434



(3) 令和7年度の主な事業計画

令和7年度に実施予定の、資料館が主催する主なソフト事業について、概略を以下に記載しています。ここで記載した事業の内容や、実施時期などについては、あくまでも現段階での計画であるため、今後の状況により、大きく変更となることや実施回数の増減が想定されることをご留意願います。

①展示・公開事業

1) 常設展示

観覧者にとって分かりやすい内容となるよう、補助パネルや解説シート設置などの工夫や、季節毎の室内装飾、代替品との展示替えなども検討しながら実施予定です。

2) 企画展示

令和7年度のメインテーマは「古代の名取」とし、これについての展示を2回、市史編さん事業についての展示を1回、発掘調査の速報展を1回の計4回の企画展示開催を想定しています。内容や期間、回数なども含め、状況に応じて柔軟に変更することを基本としています。

第2 1回企画展「鉄との出会い」

4月7日(日)～ 6月23日(日)：78日間

第2 2回企画展「集落から見た古代の名取」

7月7日(日)～ 9月22日(日)：78日間

第2 3回企画展「宮城に生きる民俗—自治体史と暮らしの記録—」

10月5日(日)～12月21日(日)：78日間

第2 4回企画展「令和6年度 発掘調査報告展」

R8年 1月4日(日)～ 3月22日(日)：78日間

②学習・交流事業

1) 歴史スポットめぐり

資料館開館当初から開催している海と山それぞれをメインとした「メジャーコース」に加え、市内の奈良・平安時代に関する歴史スポットを巡る「名取郡の成立と実方中将コース」など、計6回を予定しています。

第1回歴史スポットめぐり（4月頃）：メジャーコース

第2回歴史スポットめぐり（9月頃）：名取郡の成立と実方中将コース

第3回歴史スポットめぐり（11月頃）：古墳・古代コース

増田歴史謎解きウォーキング（12月頃）：増田地区の歴史スポットで問題を解きながらめぐるコース

2) 第6回 資料館まつり

資料館最大のイベントである「資料館まつり」は10月頃の開催を予定しています。開催日については、「秋まつり」を含め、他の行事の日程なども勘案しながら決定する予定です。各イベントなどの実施場所は、下記を基本に、内容の変更や充実を図りながらの実施を検討しています。

屋外メインステージ（民俗芸能披露2件、昔ばなし語り、吹奏楽演奏ほか）

展示室（展示案内・解説）

体験学習室（まが玉づくり、缶バッジづくり、火おこし）

古墳ふれあい広場（はに輪投げ、水鉄砲の的あて）

物販（ドリンク、雑貨など）

※ カッコ内は第5回目の主な実施内容です。

3) 歴史講座・講演会

【歴史講座】

名取の歴史や民俗、自然などを学ぶ講座を計4回開催する予定です。実施時期や内容については未確定ですが、主に企画展示の関連イベントとして、企画展示内容に関わる講座を実施する予定です。

第1回 歴史講座（5月頃）13：30～15：00

第2回 歴史講座（8月頃）13：30～15：00

第3回 歴史講座（11月頃）13：30～15：00

第4回 歴史講座（2月頃）13：30～15：00

【講演会】

令和7年度のメインテーマである「古代」などに関する講演会を、外部講師を招いて開催する事を検討しています。

【各種案内・出前講座】

昨年度同様、随時の依頼によるものや、市の出前講座への申し込みによる講師派遣などを含め、資料館の展示解説や、市の主な文化財、歴史スポットなどの案内や説明を行います。実施にあたっては、出来るだけニーズに合わせてながら対応する予定です。

4) ボランティア研修講座

当資料館では、現在約30名のボランティアの方々が活動しています。資料館の事業や活動の円滑な実施を図るとともに、資料館とボランティアの皆さんが連携をしながら、より充実した活動を行い、利用者の満足度や利便性の向上につながるよう、新規ボランティアを対象とした展示解説や体験学習サポートのための研修講座を年5回実施する予定です。これらは既に活動しているボランティアのスキルアップ講座も兼ねていますが、ほかにも、展示解説の案内人や体験学習の講師を務めるための追加研修を実施する予定です。また、資料館主催の各種講座やイベントなどにも研修を兼ねて参加していただきながらの活動を予定しています。

5) 市内小学6年生（義務教育学校6年生）訪問学習

本格的に歴史の学習がはじまる小学校6学年（義務教育学校6年生）を対象に、資料館での訪問学習を実施し、郷土の歴史や先人たちの暮らしについて学ぶ機会を提供します。具体的には、資料館が作成した学習ノートを活用した展示室での学習活動や、まが玉づくりなどの体験を組み合わせた活動を計画しています。実施にあたっては、各学校の要望に合わせながら、柔軟に対応する予定です。また、スムーズに訪問学習を実施するため、移手段の確保なども検討しています。

③体験学習事業

魅力ある体験メニューを用意し、来館者の体験活動のサポートなどを行います。

1) 体験学習・体験イベント

令和6年度に実施した体験学習メニューを基に、令和7年度以降も内容を検討しながら、メニューの充実を図る予定です。

まが玉づくり・缶バッジづくり・拓本しおりづくり・竹の水鉄砲づくり
ミニ縄文土器づくり・ミニ埴輪づくり・土製品マグネットづくり・タデアイの生葉染め
タデアイの煮出し染め・火おこし・けしごむはんこづくり・網代編みのミニ敷物づくり
稲わらで正月飾りづくり・紙漉き・和綴じノートづくり・雷神山古墳のミニチュアづくり

2) 実施検討メニュー

今後も体験学習メニュー数を増やしたり、内容のブラッシュアップを図ったりしながら実施していく予定です。下記の内容に限らず、柔軟にメニューを取り入れながら実施していきます。

染物体験（タデアイ以外）・紡錘車の糸くり体験・埴輪や縄文土器のマグネットづくり

④調査研究事業

当資料館では、歴史や考古、民俗などをはじめとする多様な歴史文化の保存・活用を行っており、特に本市に関わるものについて、引き続き調査・研究を進める予定です。資料館が実施する学習交流や体験活動などを通じて、多くの方々から寄せられる情報なども参考にしながら、その成果の蓄積・継承や活用を行います。主な対象は、以下のものが想定されますが、具体的な内容については柔軟に実施する予定です。

名取の歴史・民俗に関する調査研究、体験メニューの開発に関する調査研究、
資料館利用学習のプログラムに関する調査研究、ボランティアスタッフとの協働調査研究、
上記の研究成果をまとめた報告書の刊行

2. 展示・公開

(1) 常設展示

約2万年前頃から受け継がれてきた多くの歴史文化の中から、特に名取市の歴史文化の特徴や魅力を物語る6つのテーマに絞って、写真・映像・解説などにより分かりやすく紹介しています。

展示室は「考古の展示室」と「歴史・民俗の展示室」の2つの展示室があります。

①オリエンテーションルーム

常設展示はテーマに絞った展示になっていることから、市の歴史文化の概要や大きな流れを把握しにくい恐れがあります。そこで入口脇にあるオリエンテーションルームでは、60インチのモニターの2つの映像を通じて、予め本市の歴史の流れや概要を見た上で常設展示などをご覧頂くことを意図したものです。2つの映像は、通史を紹介する「なとり歴史の旅」と市内の主な歴史スポットを上空から紹介する「なとりの歴史 空中散歩」と言う10分程度のもので、ボタンで選択して見ることができます。

②考古の展示室

雷神山古墳をはじめとする、旧石器時代から平安時代頃にかけての発掘調査の出土品や資料を中心に紹介しています。

入口正面には、導入部として自然環境と人々の暮らしの拡がりを見ることが出来る「考古資料からみた名取」のコーナーがあります。名取市の地形模型に現在の市の様子や、過去の海岸線と人々の暮

らしの拡がりをも、大きく4つの時期に分けて、プロジェクションマッピングにより、海岸線などをはじめとする自然環境の変化と、それに応じて丘陵部から平野部へと拡大していく生活区域の変遷をイメージと音声で理解することが出来ます。

展示エリアは、テーマ毎に大きく3つのゾーンに分かれています。

【テーマ1：愛島・高館の森や海辺の丘と縄文の暮らし】

市西部の丘陵や「名取が丘」がある丘陵で展開された、市の歴史の原点とも言える旧石器時代や縄文時代の暮らしに焦点をあてたものです。自然との共生の中で、生活の舞台として選ばれたことを物語る文化財を展示しています。コーナーの最後には、考古展示室が対象とする時代の年表があります。

●主な内容：野田山遺跡、泉遺跡、今熊野遺跡、前野田東遺跡、宇賀崎貝塚、金剛寺貝塚

【テーマ2：雷神山古墳と花開いた古墳文化】

古墳文化繁栄のシンボルであり、当時は東北の中心であったことを物語る「雷神山古墳」のほか、多数の古墳、他の地域との交流を伝える出土品に焦点をあてたものです。また、稲作をはじめとする大陸文化の伝来により、その繁栄の基礎がつけられた弥生時代の文化財も含め展示しています。

●主な内容：十三塚遺跡、原遺跡、今熊野遺跡、雷神山古墳、飯野坂古墳群、下増田飯塚古墳群

【テーマ3：名取郡の成立と実方中将】

8世紀（700年代）の初め頃の「名取郡」成立により、歴史の舞台に「名取」が登場します。名取郡には当時の陸奥国府が置かれるなど、それ以前と同様に政治・文化の中心地でした。丘陵部には多賀城へと続く東山道が整備され、平安時代の著名な歌人「藤原実方」の旧跡をはじめ、様々な暮らしの痕跡が残されており、平野部でも大きな集落が営まれました。

●主な内容：清水遺跡、笠島廃寺跡、藤原実方の墓、道祖神社、前野田東遺跡、熊野堂横穴墓群

③歴史・民俗の展示室

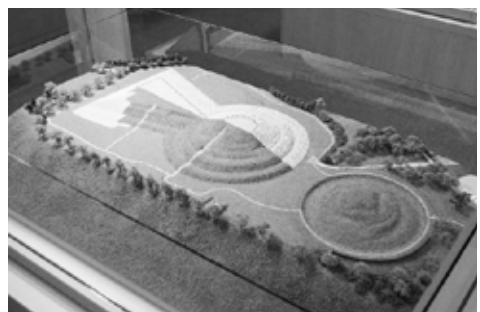
熊野三社をはじめとする、平安時代以降の歴史や暮らしに関する資料をご紹介します。

展示エリアは、テーマ毎に大きく3つのゾーンに分かれています。

【テーマ4：熊野三社と名取の老女】

平安後期に成立と伝わる熊野三社は、全国3,000か所以上ある熊野ゆかりの社寺の中で、紀州熊野三山と同じく、本宮・新宮・那智の3社を個別に祀り、位置関係なども似せるなど、全国的にも珍しい特徴を有し、多くの関連する文化財が伝えられています。その成立に深く関わる「名取老女」の伝承や旧跡にも焦点をあてた展示です。

モニターでは「見てみよう！熊野三社の伝説と芸能」があり、タッチパネルでみたい神楽などの映像を見ることが出来ます。その前面には昭和50年頃の熊野三社付近の様子を再現した



模型で位置関係や立地環境が分かります。

●主な内容：熊野本宮社、熊野神（新宮社）、熊野那智神社、熊野新宮寺、大門山遺跡

【テーマ5：増田宿と洞道家・旧中沢家住宅】

仙台藩に属した江戸時代には、市中央の奥州街道沿いに増田宿の「まち」が、平野部には洞道家住宅などの水田・堀・いぐねに象徴される田園集落、西部の丘陵部や谷筋などには、鎮守・村堂・山林・池・墓地などで構成される、暮らしの原風景ともいべき素朴な集落が営まれました。それぞれの環境に応じて展開した暮らしに焦点をあてた展示です。敷地も含めた洞道家住宅の模型や、迫力ある釜神さまも展示されています。

●主な内容：館腰神社、洞道家住宅、衣笠の松、鶴見屋土蔵、旧中沢家住宅

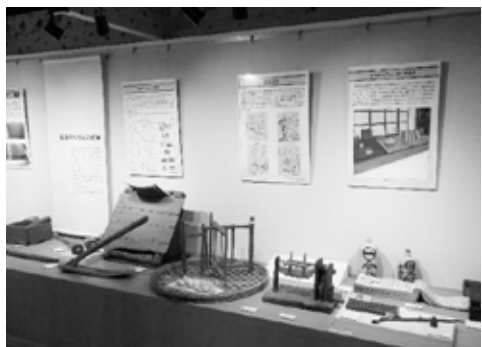
【テーマ6：貞山運河と閑上】

名取川河口の港まち閑上は、仙台と外洋をつなぐ物資運搬や漁業・農業を生業とし、江戸時代には藩直轄の港として、「貞山運河」や名取川を通じた城下への材木・米の運搬などで賑わいました。明治には、増田・閑上の2つの「まち」を結ぶ新道が、大正末～昭和初期には、増東軌道が整備されました。この様な、海岸文化の拠点としての特色に焦点をあてた展示です。コーナー内には、歴史民俗の展示室の展示に関わる年表やマップもあります。

●主な内容：貞山運河、増東軌道、閑上土手の松並、閑上大漁唄込み踊、日和山、津波碑

【名取のくらしの道具】

常設展示の6つのテーマのほか、弥生時代から人々の暮らしを支えてきた米作りをはじめ、かつては名取でも行われていた養蚕、宿場町などで使われていたと思われる生活の道具などを展示したコーナーを設けています。



(2) 企画展示

①第16回企画展「名取の山あいの村々～江戸時代の水と祈り～」

- 1) 展示内容：江戸時代に存在した山あいの村について、人々の暮らしに必要な水の確保のための手段や、特有の信仰などを、その具体例や資料とともにご紹介しました。
- 2) 会 期：令和6年4月7日（日）～6月23日（日）
- 3) 開催日数：78日間
- 4) 展示資料：高札、手回し水車、御検地帳など
- 5) 関連事業：展示解説案内、第16回企画展ミニ解説・山あいの村歩き、講座
- 6) 担当者名：鈴木美祐、安孫子礼美



②第17回企画展「THE 横穴墓わーどー熊野堂横穴墓群の世界ー」
(なとり市史企画展)

- 1) 展示内容：東北地方で古墳時代の終わりころからよく見られるようになった横穴墓は市内でも多く見つかっており、その中でも熊野堂横穴墓群を中心として、その謎に迫る展示を行いました。
- 2) 会 期：令和6年7月7日（日）～9月22日（日）
- 3) 開催日数：78日間
- 4) 展示資料：熊野堂横穴墓群出土土師器、須恵器など
- 5) 関連事業：展示解説案内、講座、講演会
- 6) 担当者名：李スルチョロン

③第18回企画展「名取の名物自慢～平野の実りと海辺の恵み～」

- 1) 展示内容：名取の平野と海辺の人びとが、江戸時代から明治時代頃にかけてどのようなものをつくり暮らしていたのか、資料を紐ときながら紹介し、地域にかつて根づいていた信仰などの心のありようなども探る展示を行いました。
- 2) 会 期：令和6年10月8日（日）～12月24日（日）
- 3) 開催日数：78日間
- 4) 展示資料：田舟、うなぎどう、うなぎかき、鑑札など
- 5) 関連事業：閑上の歴史めぐり、講座、展示解説案内
- 6) 担当者名：鈴木美祐、安孫子礼美

④第19回企画展「令和5年度発掘調査報告展」

- 1) 展示内容：令和5年度に行った発掘調査の中で、飛鳥時代（6世紀末～7世紀）と平安時代の遺跡を取り上げ、名取郡の成立過程とその後の展開などについて紹介しました。
- 2) 会 期：令和7年1月5日（日）～3月23日（日）
- 3) 開催日数：78日間
- 4) 展示資料：八幡遺跡出土品、岩沼市原遺跡出土円面硯（岩沼市教育委員会所蔵）など
- 5) 関連事業：展示解説案内、講演会、講座
- 6) 担当者名：大友健太郎、相澤清利



	企画展名	期間	入館者
第1回	なとりの王が教える 名取の古墳	令和2年5月31日（日）～9月6日（日）	2702
第2回	山岡古墳のお宝 一時里帰りした名取の至宝	令和2年9月19日（土）～12月20日（日）	2818
第3回	令和元年度発掘調査報告展	令和3年1月9日（土）～3月28日（日）	1690
第4回	名取熊野三社と周辺の歴史文化遺産	令和3年4月10日（土）～6月27日（日）	1726
第5回	海辺の豪族の墓－経ノ塚古墳－	令和3年7月11日（日）～9月26日（日）	1282
第6回	名取熊野三社と周辺の歴史文化遺産2－中世後半～近世－	令和3年10月10日（日）～12月26日（日）	2240
第7回	令和2年度発掘調査報告展	令和4年1月9日（日）～3月27日（日）	1600
第8回	名取の貝塚－海や潟湖と縄文人の暮らし－	令和4年4月10日（日）～6月26日（日）	2121
第9回	織物の歴史とその道具－糸から布へ－	令和4年7月10日（日）～9月25日（日）	2009
第10回	名取の縄文ムラ－森と縄文人の暮らし－	令和4年10月9日（日）～12月25日（日）	1889
第11回	令和3年度発掘調査報告展	令和5年1月8日（日）～3月26日（日）	1593
第12回	増田宿と奥州街道沿いの歴史文化	令和5年4月9日（日）～6月25日（日）	1909
第13回	なとり市史企画展 わたしたちの『名取市史』－「市史」ってなあに？－	令和5年7月9日（日）～9月24日（日）	1751
第14回	名取熊野三社900年の歩み	令和5年10月8日（日）～12月24日（日）	2452
第15回	令和4年度発掘調査報告展	令和6年1月7日（日）～3月24日（日）	1781
第16回	名取の山あいの村々～江戸時代の水と祈り～	令和6年4月7日（日）～6月23日（日）	2355

第17回	なとり市史企画展 THE横穴墓わーどー熊野堂横穴墓群の世界ー	令和6年7月7日（日）～9月22日（日）	2036
第18回	名取の名物自慢 ～平野の実りと海辺の恵み～	令和6年10月6日（日）～12月22日（日）	2015
第19回	令和5年度 発掘調査報告展	令和7年1月5日（日）～3月23日（日）	1707

（3）名取市図書館情報発信コーナー

多くの方に名取市の歴史・文化を知ってもらえるよう、名取市図書館の情報発信コーナーで、時代ごとにテーマを設けて展示・公開をしています。令和6年度は市内にある中世の遺跡について、出土品や写真、パネルを展示しました。

3. 学習・交流活動

（1）歴史スポットめぐり

①市内歴史スポットめぐり

市内歴史スポットめぐりは、資料館の展示と市内各所に点在する魅力あふれる歴史スポットを、職員の解説を聴きながらバスでめぐるツアーです。令和6年度は、5月・9月・3月に1～2回ずつ、計5回のスポットめぐりを実施しました。市内を代表する歴史スポットをめぐるコースを設定し、毎回の募集人数を15～20名として各回バス1～2台を借りて実施しました。今後も、新しいコースを増やしながら、継続的に取り組んで行く予定です。

1) 旧石器・縄文コース

旧石器から縄文時代の暮らしの舞台となった愛島や高館周辺の歴史スポットをめぐるコースです。

【宇賀崎貝塚→名取大塚山古墳・賽ノ窪古墳群→泉遺跡・前野田東遺跡→野田山遺跡→今熊野遺跡→金剛寺貝塚→文化財収蔵館→十三塚遺跡・旧中澤家住宅】

2) おすすめコース①

市内の主要な歴史文化スポットの中から、市西部の高館や愛島地区の丘陵部から、中央の増田地区などを中心に回るコースで、熊野三社や藤原実方の墓などのほか、雷神山古墳や旧中澤家・洞口家住宅をめぐるコースです。

【熊野那智神社→熊野本宮社→熊野神社（新宮社）→藤原実方の墓→十三塚遺跡→旧中澤家住宅→雷神山古墳→衣笠の松→洞口家住宅】

3) おすすめコース②

市内の主要な歴史文化スポットの中から、市中央部の増田や東部の下増田・閑上地区を中心に回るコースで、下増田飯塚古墳群や、閑上の日和山、閑上土手の松並などのほか、雷神山古墳や旧中澤家・洞口家住宅をめぐるコースです。

【十三塚遺跡・旧中澤家住宅→雷神山古墳→飯野坂古墳群→下増田飯塚古墳群→日和山・貞山運河→震災復興伝承館→閑上土手の松並】

●第1回歴史スポットめぐり

日 時：4月20日（土）9：00～15：00 参加者：21人 内容：おすすめコース①

日 時：4月27日（土）9：00～15：00 参加者：23人 内容：おすすめコース②



雷神山古墳



熊野那智神社

●第2回歴史スポットめぐり

日時：11月 9日(土) 9:00~15:00 参加者：10人 内容：おすすめコース①
 日時：11月10日(日) 9:00~15:00 参加者：7人 内容：おすすめコース②

●第3回歴史スポットめぐり

日時：3月16日(土) 9:00~15:00 参加者：19人 内容：旧石器・縄文コース

②第16回企画展ミニ解説・山あいの村歩き

企画展を見ながら職員が説明し、その後バスに乗り込んで愛島塩手・笠島地区にある江戸時代以降の歴史スポットをめぐるイベントで、企画展開催に併せて初めて開催しました。

【柳沢上・下堤ため池→北目薬師神社→笠島地区石碑群→沢の薬師堂】

日時：6月28日(土) 9:00~12:00

参加者：24人

③閑上の歴史めぐり

小学生以上の親子を対象に閑上地区周辺の文化財や観光スポットをめぐるイベントで、第18回企画展に併せて初めて開催しました。

【洞口家住宅→日和山・貞山運河→ゆりあげ港朝市→震災復興伝承館→閑上湊神社→かわまちてらす閑上→閑上土手の松並】

日時：11月24日(日) 9:00~15:00

参加者：20人

④閑上の歴史探検

11月に行った「閑上の歴史めぐり」のコースを一部変更し、小学生以上の親子を対象に、各地で問題を解きながら閑上地区周辺の文化財をめぐるイベントを行いました。

【洞口家住宅→多賀神社→日和山・貞山運河→震災復興伝承館→閑上湊神社→かわまちてらす閑上→閑上土手の松並→昭和三陸津波の碑】

日時：3月16日(土) 9:00~15:00 参加者：15人

(2) 資料館まつり

当資料館が主催する1年で最大のイベントである資料館まつりの第5回目を、令和6年10月26日(土)に開催しました。当日は秋晴れの天候に恵まれ、家族連れなど延べ258名の方々に来館頂きました。

会場では、名取の歴史のシンボルでもある雷神山古墳をイメージした「古墳クッキー」がもらえるスタンプラリーのほか、ステージでは民俗芸能や昔ばなし、吹奏楽の披露、体験学習室ではまが玉づくり体験や火おこし、仙台市縄文の森広場の方々による出張体験イベントなど、様々な催しが行われました。

日時：10月26日(土) 10:00~14:00

参加者：305人

①メインステージ

敷地内の駐車場に設けられたメインステージでは、「エフエムなとり」のMCのもと、午前中には、下増田麦搗き踊保存会の皆さんによる、市指定無形民俗文化財「下増田麦搗き踊」や、閑上大漁唄込み踊保存会の方々による、市指定無形民俗文化財「閑上



沢の薬師堂



日和山の前の石碑

令和6年度 資料館まつり

10月26日(土) 10:00~14:00
 ※雨天時は10月27日に順延
 ※両日雨天の場合は中止

ステージ MC なとり FM

体験イベント

- まが玉づくり (10:00~21:00) ※材料費が200円かかります (各園10名)
- オリジナル 笛ハッパづくり
- 水鉄砲の約あて
- はに輪投げ
- 舞切り式火おこし
- 仙台市縄文の森広場 「消しゴム粘土で石器作り」 ※11:20~12:50の間は受付を一時的に閉じます

その他

- れきみんの会
- 自立企業家導引
- 展示解説案内
- スタンプラリー
- 資料館クイズ
- 本製作業所物販

グッズ、ビンゴ、はに輪投げ、水鉄砲の約あて大会に参加すると景観ひきまきが当たるかも!?

キッチンカーもやってくる!

名取市歴史民俗資料館

〒981-8224 宮城県名取市旭町一丁目7-37
 TEL:022-724-7932 FAX:022-724-7936

大漁唄込み踊」の披露のほか、資料館ビンゴや資料館クイズなどの企画が行われました。

また、午後からは、なとり昔ばなし語りの会の皆さんによる、味わい深いなとりの昔ばなしや、名取第二中学校吹奏楽部の皆さんによる迫力ある生演奏などを披露していただきました。

②古墳ふれあいひろば

古墳ふれあい広場では「はに輪投げ」や「竹の水鉄砲の的あて」が行われました。「はに輪投げ」は、名取の古墳からも見つかっている円筒埴輪のレプリカを的にした輪投げです。「竹の水鉄砲の的あて」はれきみんの会が作製した竹製の水鉄砲を使った的あてです。どちらもれきみんの会主体で運営され、5回中すべての輪投げや的あてに成功した方に古墳クッキーをプレゼントしました。また、時間限定で行われたスペシャルタイムでは、難易度がやや下がり、5回中3回以上成功した方にクッキーをプレゼントしました。どちらも大人気のイベントとなり、大人から子供まで楽しめる企画となりました。

③体験イベント

体験学習室内では、まが玉づくり、缶バッジづくり、仙台市縄文の森広場の方々による出張体験イベント「消しゴム粘土で石器づくり」を行いました。屋外では、火おこし体験を行いました。仙台市縄文の森広場の体験イベントブースでは、仙台市縄文の森広場の職員やボランティアの方々が、資料館の体験イベントブースでは主にれきみんの会のみなさんが指導や補助を行い、来館者の方々の活動をサポートしました。

④その他

資料館スタンプラリー、物販コーナー

受付前には、名取市友愛作業所にご協力頂き、物販コーナーを設置しました。

(3) 歴史講座

①第1回歴史講座

内 容：第16回企画展の関連イベントとして実施した講座です。

日 時：5月11日（土）13：30～15：00 参加者：42人 講 師：鈴木美祐、安孫子礼美

②第2回歴史講座「横穴墓の世界」

内 容：第17回企画展の関連イベントとして実施した講座です。

日 時：8月10日（土）13：30～15：00 参加者：50人 講 師：李スルチョロン

③第3回歴史講座「近世以降の名取の主な産業などについて」

内 容：第18回企画展の関連イベントとして実施した講座です。

日 時：12月1日（土）13：30～15：00 参加者：15人 講 師：鈴木美祐、安孫子礼美

④第4回歴史講座「令和5年度の発掘調査について」

内 容：第19回企画展の関連イベントとして実施した講座です。

日 時：2月8日（土）13：30～15：00 参加者：28人 講 師：大友健太郎



下増田麦搗き踊



閑上大漁唄込み踊



火おこし体験

(4) 講演会

①「7～8世紀の名取郡のようす」

第19回企画展の関連イベントとして開催された講演会です。7～8世紀の名取郡について、名取市や岩沼市での調査成果などを交えてお話しいただきました。

日時：2月15日（土）13：30～15：00

参加者：26人 講師：川又隆央氏（岩沼市教育委員会 生涯学習課 文化財係長）

会場：体験学習室



(5) 各種案内・マナビィ出前講座・展示解説案内

①各種案内等

団体への施設案内のほか、歴史スポットでの案内など、計27件にのぼる依頼に応じて各種案内を行いました。

団体名	日時		人数	講座名/内容	対象
令和6年度新規採用職員研修会	4月9日	13：15～14：00	36	展示解説	一般
令和6年度初任者・転入教職員研修会	5月1日	15：40～16：40	22	展示解説	一般
仙台市縄文の森広場	5月12日	10：00～15：00	104	縄文の森春まつりでの出張体験イベント	一般
尚綱学院大学	5月19日	9：00～11：00	25	展示解説	大学生
日高見国研究会	6月30日	10：30～16：30	30	展示解説・雷神山古墳案内	一般
尚綱学院大学	7月10日	12：50～14：20	148	「地域文化論」での出前講義	大学生
鶴岡市立朝陽第6小学校	7月12日	9：30～10：30	102	雷神山・小塚古墳見学	小学生
愛島公民館講座「おとこ楽楽クラブ」	7月25日	13：10～13：45	18	展示解説	一般
名取市役所インターン	8月20日	10：10～11：00	19	展示解説	一般
増田西公民館	9月6日	13：30～15：00	8	縄文土器づくり	一般
宮城県文化財友の会	9月7日	10：00～11：00	20	展示解説	一般
松島町幡谷文館	9月8日	13：30～14：30	10	展示解説	一般
愛島公民館	9月18日	10：00～11：30	40	出前講座「藤原実方朝臣を知る」	一般
名取市立第一中学校	10月3日	8：50～14：00、 8：50～12：00	266	出前講座「古代の名取の遺跡について」	中学生
名取北高等学校	10月16日	13：30～16：00	35	フィールドワーク	高校生
角田市談会	10月19日	9：15～11：00	28	雷神山古墳案内・展示解説	一般
名取市副校長・教頭会	10月22日	9：00～12：00	27	展示解説	一般
多賀城観光ボランティアガイドの会	10月22日	9：00～9：50	22	熊野三社案内・展示解説	一般
せんだい3.11メモリアル交流館	11月2日	15：00～15：20	22	展示解説	一般
みどり台中学校区広域連携事業	11月12日	9：00～11：30	30	歴史スポットめぐり	一般
愛島公民館	11月13日	9：00～12：00	30	藤原実方の墓周辺案内	一般
名取市ボランティア連絡会 館腰支部	11月27日	13：30～15：30	40	まが玉づくり	一般
東北福祉大学 門脇ゼミ	12月8日	13：00～15：30	14	展示解説・まが玉づくり	大学生
宮城スリバチ学会	12月21日	10：30～11：00	40	旧中澤家住宅案内	一般
ハザマ校友会 東北支部	1月11日	11：00～11：15	15	展示解説	一般
尚綱学院大学	1月25日	16：00～16：30	23	展示解説	大学生
増田小学校	2月18日～ 21日	9：05～9：50、 13：45～14：30	163	展示解説	小学生
東海村文化財保護審議会	2月20日	13：30～16：00	9	歴史スポットめぐり・展示解説	一般

②マナビィ出前講座

生涯学習推進事業として市で実施しているマナビィ講師派遣事業「出前講座」からの依頼に応じて、資料館職員の講師派遣を行いました。

団体名	日時		人数	講座名/内容	構成
植松老人クラブ寿会	7月19日	9:45~11:45	25	講座「出前資料館」	一般

③展示解説案内

企画展の実施に合わせて、資料館の職員が常設展示および企画展示の内容や見どころを案内したもので、当日集まった方を対象に行っています。実施日は、4月13日（土）、7月13日（土）、10月12日（土）、1月25日（土）で、1日各2回の計8回です。1回あたりの説明時間は約1時間の予定ですが、参加者の方々からの質問などがあるときには90分近くに及ぶこともあります。

(6) 春の雷神山古墳イベント

国史跡 雷神山古墳において、「春の雷神山古墳イベント」を開催しました。会場では、まが玉づくり体験やはに輪投げといった体験コーナーのほか、資料館職員や資料館ボランティアによる古墳解説案内も行いました。また、同時開催で雷神山桜マルシェも行われ、ハンドメイドショップやキッチンカーの出店がありました。当日は午後から小雨が降ったものの、多くの方にご来場いただき、延べ783名の方々にご来場いただきました。



日時：令和6年4月6日（土） 10:00～16:00 来場者：783名

(7) ボランティア（れきみんの会）

開館に先立ち、平成30年度からボランティアの募集を行い、令和6年度は約30名のボランティアの方が資料館ボランティアとして活動しました。この活動は、当館が行う事業の円滑な実施を図るとともに、活動を通じてボランティアと資料館が相互に成長し、より充実した資料館の活動や地域づくり、人材育成へつなげることなどを目的としたものです。

令和3年度には総会が開催されてボランティア会が発足し、愛称をれきみんの会として、資料館で開催されるイベントの補助などを行っています。

令和6年度には、れきみんの会が行う自主活動として、5つの取り組みを行っています。活動内容は以下のとおりです。

1) 昔の遊び体験 IN 旧中澤家住宅

開催日時：令和6年9月16日（土） 10:00～14:00

開催場所：旧中澤家住宅（名取市手倉田字山216-93） 来場者数：27人

内容：竹の水鉄砲の的あてやカルタ、めんこや火おこし体験、紙芝居、ゴム鉄砲の的あて、ブンコンマづくりのほか、なとり昔ばなし語りの会による昔ばなしを聞けるイベントとして開催しました。ボランティアが講師となって様々な遊び体験を提供し、旧中澤家住宅を訪れた方々と楽しい時間を過ごしました。竹の水鉄砲やゴム鉄砲は、ボランティアが製作し、的あてゲームなどを行いました。また、紙芝居についてもボランティアが自作したものも用いて来場者に読み聞かせを行いました。

2) 調査研究

【石造物】：館腰地区をメインに、飯野坂・植松地区と本郷・堀内地区の2班で調査を行いました。

【熊野三社・名取老女】：調査冊子を作成を目標として活動しました。

【体験学習】：体験学習サポートマニュアルを作成しました。雷神山古墳ミニチュアづくりなどの体験イベント案を検討し、運営も行いました。また、写真展の準備・運営も行いました。

【展示解説】：資料館の展示解説テキストを基に「考古の展示室」の解説を40分でできるように練習しました。

いずれも任意参加による自主活動グループですが、これらの活動をきっかけにボランティア相互の連携に繋がり、より充実した活動ができるようになりました。

市内小学6年生（義務教育学校6年生）では、展示解説やまが玉づくり体験の講師など、臨時研修を実施しながら、ボランティア活動のステップアップを行い、来館者対応などの活動も行っています。

令和7年度も新規ボランティアの募集を行い、引き続きボランティアの育成のための研修会の実施や、ボランティア会主催事業のサポートを行っていく予定です。

令和6年度に実施したボランティアを対象とした研修講座は以下のとおりです。

新規ボランティア研修講座

	日時		内容	
第1回	6月17日	10:30~12:00	オリエンテーション	顔合わせ・資料館及びボランティア活動の概要説明
第2回	8月19日	10:00~12:00	体験学習実習	まが玉づくり体験受講
第3回	10月21日	10:00~12:00	展示解説実習	職員による考古の展示室解説案内
第4回	12月16日	9:30~16:00	現地研修	名取市内の文化財をバスでめぐる (熊野那智神社・高館城跡・熊野本宮社・熊野神社・十三塚遺跡・旧中澤家住宅・雷神山古墳・飯野坂古墳群)
第5回	2月17日	10:00~12:00	展示解説実習	職員による歴史・民俗の展示室解説案内

訪問学習研修講座

	日時		内容	
第1回	5月21日	13:30~15:30	訪問学習内容説明・打合せ	
第2回	5月23日	13:30~15:30	まが玉づくり体験講師研修①	
第3回	5月28日	13:30~15:30	まが玉づくり体験講師研修②	
第4回	5月29日	13:30~15:30	展示解説案内研修	

展示解説研修講座

	日時		内容	
第1回	7月31日	13:30~15:30	考古の展示室 展示解説研修	
第2回	2月25日	13:00~16:40	展示解説実践試験	

(8) 市内小学6年生（義務教育学校6年生）の訪問学習

歴史の学習が始まる小学6年生を対象として、資料館での展示見学やまが玉づくり体験を行う訪問学習を実施しています。令和3年度から訪問学習を実施し、市内11校の小学校が資料館を訪れ、歴史的な体験活動や郷土の歴史文化に触れる活動を行っています。

学校名	日時		人数	内容
増田小	6月4日	9:15~11:45	33	展示見学・まが玉づくり
	6月5日	9:15~11:45	33	展示見学・まが玉づくり
	6月12日	9:15~11:45	33	展示見学・まが玉づくり
	6月18日	9:15~11:45	33	展示見学・まが玉づくり
	6月19日	9:15~11:45	33	展示見学・まが玉づくり
ゆりが丘小	6月6日	10:00~12:00	27	展示見学・まが玉づくり
	6月7日	10:00~12:00	28	展示見学・まが玉づくり
増田西小	6月11日	9:20~11:40	36	展示見学・まが玉づくり
	6月13日	9:20~11:40	43	展示見学・まが玉づくり
	6月14日	9:20~11:40	36	展示見学・まが玉づくり

下増田小	6月20日	9:00~11:00	36	展示見学・まが玉づくり
	6月20日	13:20~15:20	36	展示見学・まが玉づくり
	6月21日	9:00~11:00	39	展示見学・まが玉づくり
	6月21日	13:20~15:20	36	展示見学・まが玉づくり
館腰小	6月25日	9:10~11:30	31	展示見学・まが玉づくり
	6月28日	9:10~11:30	32	展示見学・まが玉づくり
相互台小	6月26日	9:00~11:20	31	展示見学・まが玉づくり
	6月27日	9:00~11:20	33	展示見学・まが玉づくり
愛島小	7月4日	9:00~11:30	37	展示見学・まが玉づくり
	7月5日	9:00~11:30	37	展示見学・まが玉づくり
	7月9日	9:00~11:30	39	展示見学・まが玉づくり
	7月11日	9:00~11:30	39	展示見学・まが玉づくり
	7月17日	9:00~11:30	36	展示見学・まが玉づくり
那智が丘小	7月10日	9:30~11:30	32	展示見学・まが玉づくり
高館小	7月12日	9:30~11:30	21	展示見学・まが玉づくり
関上小中	7月18日	9:35~11:45	31	展示見学・まが玉づくり
	7月18日	12:50~15:20	32	展示見学・まが玉づくり
不二が丘小	8月27日	9:30~11:40	23	展示見学・まが玉づくり
	8月28日	9:30~11:40	24	展示見学・まが玉づくり

4. 体験学習活動

資料館主催の事業として参加者を募集し行った体験型のイベントです。オープン当初から実施しているまが玉づくりに加え、様々な体験メニューを増やしながら実施しています。

①まが玉づくり

名前の由来やその起源について学びながら、滑石を使って自分だけのオリジナルまが玉を作る体験です。



日時		人数
6月22日	13:30~15:30	33

②ミニ埴輪づくり体験

埴輪について学びながら、高さ15cm程のオリジナルミニ埴輪を作る体験です。



日時		人数
5月25日	13:30~15:30	26
9月14日	13:30~15:30	20
12月14日	13:30~15:30	27

③火おこし体験

舞切り式の方法で、自力での火おこしに挑戦する体験です。



日時		人数
7月21日	13:30~15:30	19

④タデアイの生葉染め体験

藍染めの染料になるタデアイという植物をつかって、10cm四方のコースターに模様をつける体験です。染めと洗いの全2回にわたる体験です。



日時		人数
7月20日	13:30~15:00	14
7月27日	13:30~14:30	14
8月17日	13:30~15:00	17
8月24日	13:30~14:30	17

⑤昔の遊び体験 IN 旧中澤家住宅

旧中澤家住宅にて、昔懐かしい竹の水鉄砲やめんこなどのあそびを体験するものです。



日時		人数
9月21日	10:00~14:00	27

⑥稲穂で正月飾りを作ろう

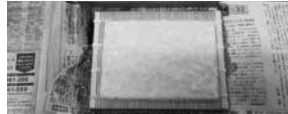
稲穂を使って手作りの正月飾りを作る体験です。



日時		人数
11月17日	10:00~12:00	17
11月17日	13:30~15:30	18

⑦紙漉き体験

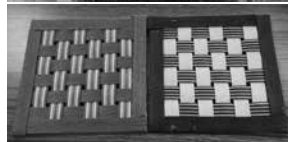
牛乳パックを使ってはがきサイズの紙をつくる紙漉き体験です。



日時		人数
12月21日	13:30~15:00	19

⑧網代編みの敷物づくり

紙バンドを使って網代編みの敷物をつくる体験です。



日時		人数
6月29日	13:30~15:00	11
9月28日	13:30~15:00	15
3月8日	13:30~15:00	19

⑨歴史スタンプでオリジナルうちわづくり

名取の歴史にちなんだ絵柄のはんこを消しゴムで製作し、作ったはんこを使って、オリジナルのうちわをつくる体験です。



日時		人数
6月15日	13:30~15:00	22
2月23日	13:30~15:00	25

⑩和綴じノートづくり

昔から用いられていた本の綴じ方を用いて、A5サイズのノートをつくる体験です。



日時		人数
8月31日	13:30~15:00	8

⑪歴史スタンプでオリジナルハンカチづくり

名取の歴史にちなんだ絵柄のはんこを消しゴムで製作し、作ったはんこを使って、オリジナルのハンカチをつくる体験です。



日時		人数
5月4日	13:30~15:00	11

⑫雷神山古墳ミニチュアづくり

古墳時代の人々がどのように古墳を作ったのかを想像しながら、1/1,000の模型を紙粘土でつくる体験です。



日時		人数
7月28日	13:30~15:30	10
8月3日	13:30~14:30	10

⑬浮き玉キーホルダーづくり

漁業の道具として使われるガラス浮き玉を模したキーホルダーをつくる体験です。



日時		人数
8月31日	13:30~15:00	8

5. 調査・研究活動

今後の体験学習メニューの候補として、雷神山古墳ミニチュアづくりや、和綴じノートづくりなど、幾つかのものについて情報収集と試作を実施したものがああります。

6. 資料管理・利用

(1) 収蔵資料利用

令和6年度の収蔵資料利用としては、写真の転載など計18件の利用申請がありました。

また、当館の企画展示などの実施にあたっては、岩沼市、仙台市、多賀城市、仙台市博物館、宮城県公文書館、東北歴史博物館などへ写真や図版資料の利用申請および資料借用申請を行いました。

(2) 資料調査

令和6年度では、当館の収蔵資料の中から考古資料についての資料調査や閲覧・写真撮影などの依頼が計3件ありました。市内遺跡出土土器やまが玉の調査など、個人や機関の調査・研究で利用することを目的とした調査です。今後も、収蔵資料などの情報発信に努めながら、より多くの利用が図られ、新たな知見の発見につながることも期待されます。

(3) 寄贈・寄託

資料館の開館後、民俗資料を中心とした資料の寄贈の問い合わせなどが寄せられており、資料館の職員が、収蔵資料の状況などに基づき手続きを行い、寄贈頂いたものがああります。令和6年度には合わせて3

件の資料を寄贈いただきました。寄贈いただいた資料は、土器片といった考古資料や、食器や徳利などの民具などがあり、寄贈いただいた資料については、収蔵資料などへの登録を行い、今後の展示公開や体験、調査・研究活動などへ活用していく予定です。

(4) 収蔵資料整理

市が所蔵している資料のうち、考古資料約13,000点についてはデータベース化が終了し、令和2年度からHPでの公開を開始しています。令和6年度については、新たにデータ化した考古資料56点や、公開済みのデータに追加する写真画像などを整理し、順次公開作業を行っています。

民俗資料については、個体毎の番号を再符号し、写真撮影を行ったデータを令和3年当初より公開しています。件数は2,000件弱に上りますが、写真画像のないものもあるため、引き続き写真撮影と資料の詳細な用途や使用年代などの追跡調査を行いました。また、令和6年度に寄贈を受けた資料についても、HP公開に向け、附番・調査などを含めたデータ化を進めています。

(5) 燻蒸・調査

展示室をはじめとする当資料館の建物は、東日本大震災の後に図書館として建築された木造建築を改修したものであり、気密性や遮蔽性など、専用施設として計画された建物に比して相対的に低い状況です。また、その環境が年間の気候変動などでどのように推移して行くのか、施設利用開始後の実態を調査・分析し、その結果に基づいて対応していく必要があります。また、展示物などに対して加害の恐れがある害虫や細菌類などの生息調査についても同様に必要で、一定の基準以下となるよう燻蒸処理を行う必要があります。専門業者へ業務委託を行い環境調査や収蔵・展示資料の燻蒸処理を行いました。

環境調査では、展示室のほか文化財収蔵館1階も対象区域に含め、7月から8月と10月から11月の計2回、それぞれ約2週間実施した。調査内容には①昆虫生息調査、②浮遊菌調査、③塵埃調査(温湿度・炭酸ガス・照度含)があり、その結果、①では7月から8月に歴史・民俗の展示室内からジンサンシバンムシが捕獲され、文化財収蔵館からはタバコシバンムシが捕獲されました。これらの虫は木製品や書籍、乾燥植物質や動物標本を加害する文化財害虫であり、いずれも該当付近の目視点検や清掃による清潔な環境維持、継続的なトラップ設置が推奨されました。冬の時期には資料館の事務室からジンサンシバンムシの幼虫の脱皮殻が確認され、文化財収蔵館からは、乾燥した動物質のものを加害するヒメマルカツオブシムシが確認されました。いずれも該当付近の目視点検や清掃による清潔な環境維持、継続的なトラップ設置が推奨されました。②浮遊菌調査では、令和2年度から引き続き、文化財収蔵館の数値が基準値を上回り、施設自体が経年劣化などによる外気の影響を受けやすい環境にあることが示されました。梅雨時期から夏にかけて除湿器を活用するなど、高湿環境への対策実施が推奨されています。③の塵埃調査では、特に異常は認められませんでした。

展示収蔵資料の燻蒸作業は、施設の特徴から建物自体の密閉が困難であることから、体験学習室の内部に骨組みによる幅4m×奥行5m×高さ1mの密閉空間を作り出し、その内部に燻蒸対象となる展示・収蔵資料を入れ込み、公益財団法人文化財虫菌害研究所の認定薬剤をガス化・充填して行う包み込み燻蒸処理により実施した。今回燻蒸処理を行った主な資料には、歴史・民俗の展示室の常設展示資料の内、古文書資料や民俗資料、文化財収蔵館で収蔵している古文書や書籍、借用などの件数の多い民具資料などを優先的に行いました。実施期間は約1週間で、この間、一時展示を中止した物があります。

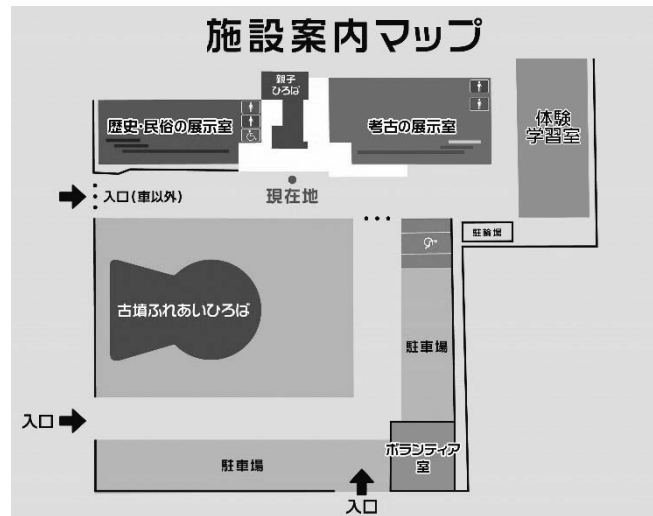
7. 刊行物

資料館が作成した刊行物は、令和2年度より毎年刊行している『名取市歴史民俗資料館年報』のほか、資料館の施設案内パンフレット(両面3つ折り・日本語版および英語版有)があり、来館者や図書館をはじめとする市の関係施設などへ設置して各施設の利用者へ配布を行っています。

Ⅲ. 資料

1. 施設概要

平成30年12月末まで、名取市図書館として利用されてきた当館の土地や建物には、東日本大震災の後に、カナダ連邦政府、ブリティッシュコロンビア州やアルバータ州、カナダウッド、(公財)日本ユニセフ協会や(公財)図書館振興財団をはじめとする支援で建てられた施設が多くあります。当資料館の整備においては、これらの施設を出来るだけ活かしながら、市の歴史文化の保存・活用の拠点となる施設として整備しました。当館の敷地(3,871㎡)内には、(1)～(4)の4つの建物のほか駐車場・駐輪場、古墳ふれあいひろば、親子ひろばがあります。



(1) 考古の展示室

オリエンテーションルーム、考古の展示室、収蔵庫、トイレ、受付・事務室があります。木造平屋建て(238㎡)。壁などの建材には、カナダツガ材が使用され、木の温もりを感じることができる建物です。平成25年のカナダー東北復興プロジェクトによる支援で建築された建物を活用しています。

(2) 歴史・民俗の展示室

歴史・民俗の展示室、企画展示室、情報検索ブース、トイレがあります。

木造平屋建て(157㎡)の建築で、壁などの建材には杉材が用いられ、木の温もりを感じることができる建物です。平成23年10月に公益財団法人日本ユニセフ協会の支援で建築した建物を活用しています。

(3) 体験学習室

体験学習室と収納室があります。鉄骨造平屋のプレハブ(188㎡)建築です。室内では各種講座や講演会、まが玉づくりや、土器づくりなどの体験イベントなどを行うことができ水道も使用できます。テーブル・椅子を並べた場合、およそ30人での使用ができ、椅子だけを並べた場合には、約50人での使用が可能です。

(4) ボランティア室

資料館で活躍するボランティアさんの活動などを行う施設です。

鉄骨造平屋プレハブ(66㎡)の建物です。平成23年10月に公益財団法人 図書館振興財団の支援で建築した建物を移設し活用しています。

(5) 古墳ふれあいひろば

雷神山古墳のおよそ1/10サイズの前円墳をモチーフとした盛土や遊具がある芝生の広場です。親子で遊びながら自然に古墳の形をイメージできる広場です。

(6) 親子ひろば

「考古の展示室」の建物と「歴史・民俗の展示室」の建物の間にある屋外スペースです。「考古の展示室」入口脇のウッドデッキやベンチと併せ、小さなお子様と親子でくつろげる人工芝敷きの空間です。幼児用の遊具があります。

(7) 駐車場・駐輪場

普通車22台(ハンディキャップ専用含む)の駐車が可能です。バスの駐車は「考古の展示室」および「歴史・民俗の展示室」の裏側への駐車可能です。(職員へご相談下さい。)

駐輪場10台(屋根付き)の駐輪が可能です。

2. 組織・職員体制

(組織)

名取市教育委員会 ― 文化・スポーツ課 ― 名取市歴史民俗資料館
(文化財係)

(体制)

館長 ― 主幹 1 ― 主査 1 ― 主事 3 ― 会計年度任用職員 2

※館長、主幹 1 名、主査 1 名、主事 3 名は文化財係兼務

主事 2 名は市史編さん室兼務

3. 予算

館長	鶴崎 哲也	主幹	遠藤 裕
主査	大友 透	主査	浅野 麻衣子
主事	鈴木 美祐	主事	大友 健太郎
主事	桑折 肇	会計年度任用職員	安孫子 礼美
会計年度任用職員	加藤 幸		

4. 条例・規則

項目	予算額	備考
維持管理費	16,705,000円	職員人件費除
事業活動費	5,146,000円	

○名取市歴史民俗資料館条例

令和元年 12 月 27 日

名取市条例第 24 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 30 条及び地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、名取市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 考古資料、歴史資料、民俗資料、郷土資料、埋蔵文化財等の保存及び活用を行うことにより、市民の文化の向上に資するため、資料館を設置する。

(名称及び位置)

第 3 条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

(業務)

名称	位置
名取市歴史民俗資料館	名取市増田一丁目7番37号

第 4 条 資料館において、次に掲げる業務を行う。

- (1) 考古資料、歴史資料、民俗資料及び郷土資料（以下「考古資料等」という。）の収集、整理及び保管に関すること。
- (2) 考古資料等の調査及び研究に関すること。
- (3) 考古資料等の展示、利用及び普及啓発に関すること。
- (4) 埋蔵文化財に関する資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (5) 埋蔵文化財の発掘、保全、調査及び研究に関すること。

- (6) 埋蔵文化財に関する資料の展示、利用及び普及啓発に関すること。
(7) 前各号に掲げるもののほか、資料館の設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。
(職員)

第5条 資料館に、館長その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第6条 資料館が展示する資料の観覧料は、無料とする。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(令和2年教委規則第1号で令和2年4月26日から施行)

○名取市歴史民俗資料館条例施行規則

令和2年3月18日
名取市教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、名取市歴史民俗資料館条例(令和元年名取市条例第24号。以下「条例」という。)

第7条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 名取市歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い当該休日でない日

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

(入館者の遵守事項)

第4条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示物に触れないこと及び展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。

(2) 許可を得ないで展示物又は資料を模写し、又は撮影しないこと。

(3) 他の入館者に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 前3号に掲げるもののほか、係員の指示に従うこと。

(入館の制限等)

第5条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、資料館への入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。

(2) 施設、設備器具又は展示物を損傷するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げる場合のほか、資料館の管理に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(寄贈等)

第6条 資料館に資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

(所蔵資料の貸出し)

第7条 資料館に所蔵されている資料(以下この条及び次条第2項において「所蔵資料」という。)の貸

出しは、行わないものとする。ただし、博物館、美術館、図書館、学校その他教育委員会が適当と認める施設において所蔵資料を展示し、又は学術上の研究、学習等に用いる場合は、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により所蔵資料の貸出しを受けようとするものは、所蔵資料貸出承認申請書を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。この場合において、貸出しを受ける所蔵資料が寄託物であるときは、寄託者の承諾書を併せて提出しなければならない。

3 第1項ただし書に規定する場合における所蔵資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(損傷等の届出)

第8条 資料館の施設、設備器具、展示物等を損傷し、又は亡失させた者は、直ちに係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

2 前項の規定は、所蔵資料(前条第2項の承認を受けることにより貸し出されたものに限る。)を損傷し、又は亡失させた者について準用する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、条例の施行の日から施行する。

5. 沿 革

平成 29 年 12 月 (仮称) 名取市歴民民俗資料館 基本計画策定

平成 30 年 3 月 (仮称) 名取市歴民民俗資料館 基本設計

平成 31 年 3 月 (仮称) 名取市歴民民俗資料館 実施設計

令和 元年 7 月 (仮称) 名取市歴民民俗資料館整備工事着手 (竣工 令和 2 年 5 月 15 日)

令和 2 年 2 月 名取市歴史民俗資料館条例制定

令和 2 年 2 月 名取市歴史民俗資料館条例施行規則制定

令和 2 年 5 月 名取市歴史民俗資料館開館 (31 日)

令和 3 年 8 月 来館者 1 万人達成 (7 日)

令和 3 年 10 月 ボランティア会「れきみんの会」設立 (11 日)

IV. 調査・研究報告

名取市十三塚遺跡出土の弥生土器（補遺）

1. はじめに

名取市教育委員会では、名取市文化財収蔵館に保管している考古資料について再整理事業を実施している。令和6年度は、平成6年度年報報告分から漏れていた十三塚遺跡（東D区）出土の弥生土器について整理・資料化を行った。今回はこの資料の公開と活用を図るべく、本誌上に補遺として報告する。

2. 遺跡と調査の概要

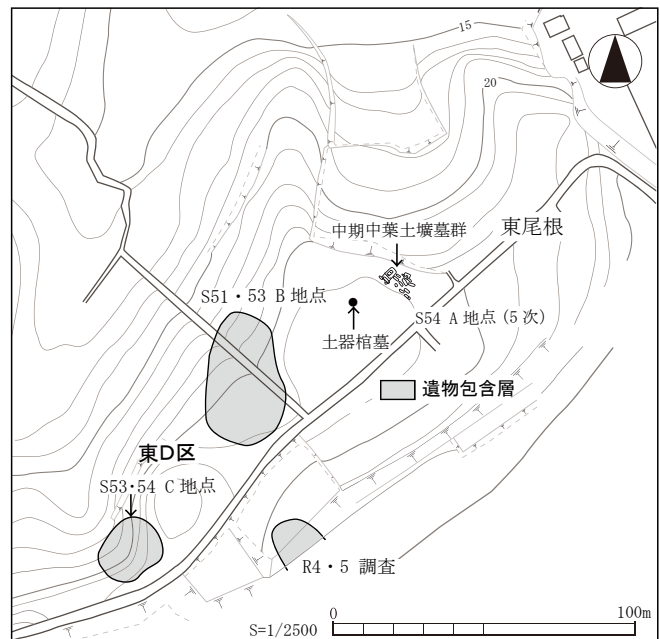
十三塚遺跡は、宮城県名取市手倉田字山に所在し、約50haを有する大規模な集落跡である。立地する愛島丘陵は、高館丘陵から東に派生する標高30～40mの低丘陵で、著名な国史跡雷神山古墳などもその東端に位置している。本遺跡ではこれまでの調査で、縄文時代後期、弥生時代、古墳時代前・中期の遺構・遺物が発見されている。弥生前期末葉「十三塚東D式」、中期後葉「十三塚式」の標式遺跡であり、古墳時代では、尾根上に完全に埋まりきらない窪んだ状態で43ヶ所の竪穴住居跡が確認できる稀有な遺跡でもある。



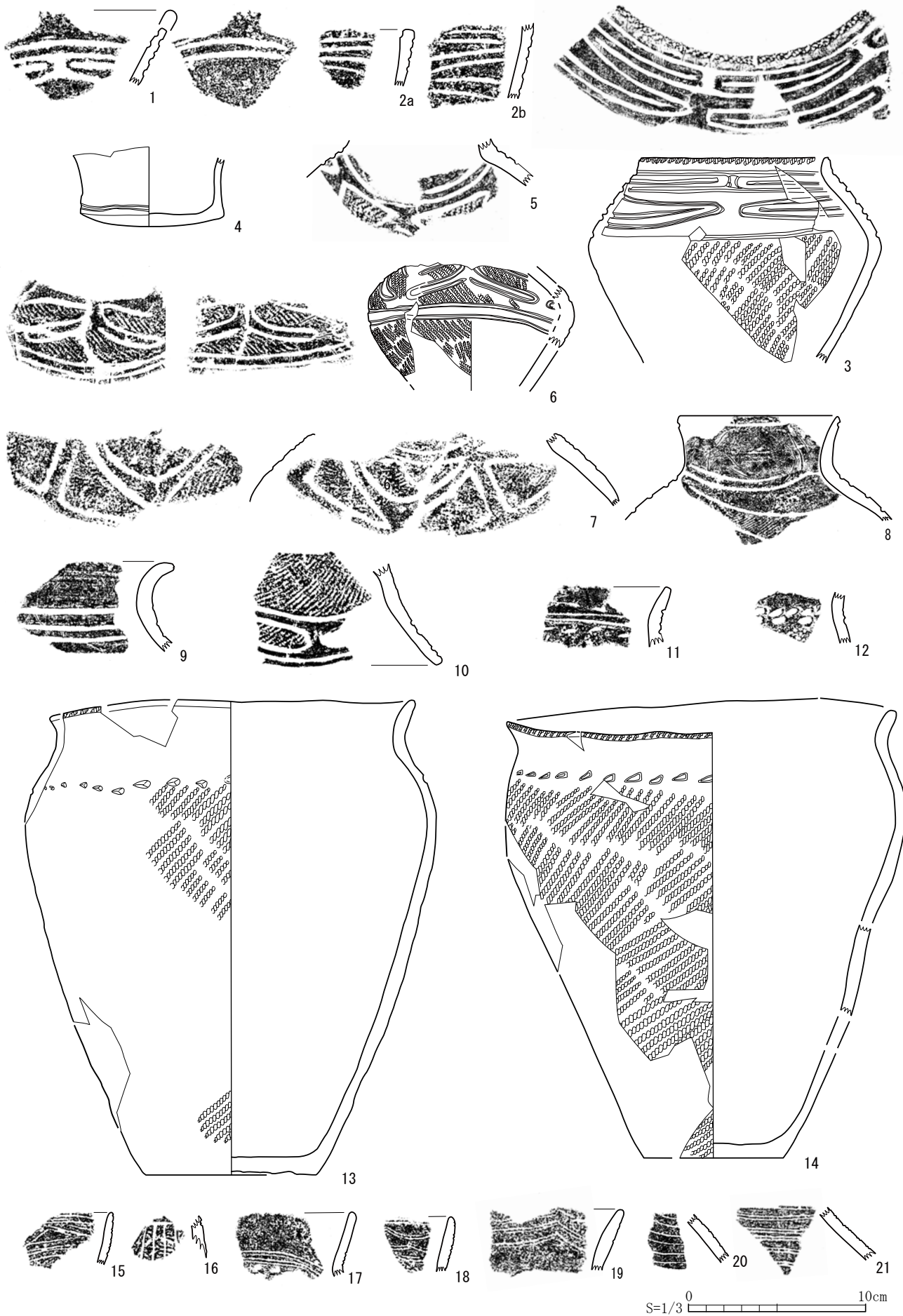
第1図 十三塚遺跡の位置図

遠賀川系土器を含む弥生土器が出土したのは、昭和51・53・54年の東D区の調査で、昭和54年に概報（恵美1979）が刊行された後、平成6年度の年報（福山1995）において前期弥生土器の報告がなされた。近年では遠賀川系壺2点の実測図を再報告している（相澤2022）。

土器は北西むき斜面のくぼみに堆積した黒褐色土に流入した状態で出土しており、時期は福浦島下層式から十三塚式までを含むものとされている。土器以外では、石包丁1点、環状石斧2点（うち1点は未成品）、独鈷状石器1点、アメリカ式石鏃2点が出土している。



第2図 東尾根検出の遺物包含層等分布図



第3图 十三塚遺跡弥生土器実測图

第1表 十三塚遺跡弥生土器観察表

番号	種別	器種	部位	特徴		備考	登録番号
				外面	内面		
1	弥生土器	高坏	口縁～体部	変形工字文、ミガキ	ミガキ	山形突起上に2本の刻目	R10
2	弥生土器	鉢	口縁～体部	2条1対沈線による変形工字文、ミガキ	口縁上端: 1条沈線文、ミガキ		R5
3	弥生土器	鉢	口縁～体部	口唇・体部: 縄文LR 体部: 変形工字文、ミガキ	ミガキ		R13
4	弥生土器	鉢	体～底部	底部上端: 1条沈線文 体部・底面: ミガキ	ミガキ	丸底鉢	R19
5	弥生土器	壺	体部	磨消三角組合せ文、縄文LR、ミガキ	ミガキ		R2
6	弥生土器	壺	体部	磨消ヒトデ状文、縄文LR、ミガキ、	ミガキ		R15
7	弥生土器	壺	体部	磨消三角組合せ文、縄文LRミガキ	ミガキ		R16
8	弥生土器	壺	口縁～体部	口縁部上端: 1条沈線文 体部: 磨消変形工字文カ、縄文LR、ミガキ	ミガキ		R7
9	弥生土器	壺	口縁～頸部	口唇部: 1条沈線文 口縁部: 3条平行沈線文、ミガキ	ミガキ		R6
10	弥生土器	蓋	体～口縁部	磨消工字文カ、縄文LR、ミガキ	ミガキ	外面にイネ靱圧痕あり	R14
11	弥生土器	甕	口縁～体部	口縁部: 沈線外列点文(沈線2条、列点2条) 体部: 縄文LR	ミガキ		R11
12	弥生土器	甕	体部	体部: 2条列点文、ハケメ、縄文LR	ミガキ		R4
13	弥生土器	甕	口縁～体部	口唇部: 縄文LR、口縁部: ヨコナデ 体部: 1条列点文、縄文LR	ミガキ		R20
14	弥生土器	甕	口縁～体部	口唇部: 縄文LR、口縁部: ヨコナデ 体部: 1条列点文、縄文LR	ミガキ		R21
15	弥生土器	鉢	口縁部	1本施文具による平行沈線間に三角文	ナデカ		R12
16	弥生土器	壺	頸部	原体不明の圧痕→1本施文具による連子文	ナデカ		R9
17	弥生土器	鉢	口縁部	2本同時施文具による直線文、ナデ	ナデ		R8
18	弥生土器	鉢	口縁部	2本同時施文具による連弧文、ナデ	ナデ		R17
19	弥生土器	鉢	口縁部	2本同時施文具による連弧文	ナデ		R1
20	弥生土器	壺	体部	2本同時施文具による円文、ナデ	ナデ		R18
21	弥生土器	壺	体部	2本同時施文具による重四角文カ、ナデ	ナデカ		R3

3. 土器の概要と時期

1～14は弥生前期末葉～中期前葉の時期をまとめた。1は隆線状の沈線で変形工字文を描く高坏の坏部である。山形突起頂部には2本の刻目が施される。2a・bは浅鉢の口縁部で、2条1対の沈線で変形工字文を描く。3は胴が強く張る浅鉢で、上半には隆線状の典型的な変形工字文が描かれる。4は丸底の鉢で、底部からわずかに内弯しながら立ち上がり、口縁部が大きく開く器形であろう。口縁部の文様はいわゆる「変形匹字文」と推定される。5は壺の体部で、大きめの三角文と小さめの三角文が組み合う磨消縄文構成である。6の壺は口縁部が欠損するが直口壺であろう。体部の文様は流水型変形工字文が変容して、磨消縄文化した文様構成をとる。7は概報報告済みの資料であるが、同一個体が新たに発見されたことや蓋として報告されていたこともあり、今回改めて図化した。部位は中型壺の体部で、三角文が組み合う構成の文様である。8は短く直立する口縁部を持つ壺で、体部には磨消変形工字文と推定される文様がみられる。沈線は細く縄文原体も細かい。9は遠賀川系壺の口縁部で、口唇部に1条沈線文、頸部には3条の平行沈線文が施文される。10は体部～口縁部が残存する蓋で、文様は磨消工字文であろう。外面体部にはイネ靱圧痕が確認できる(註1)。11～14は遠賀川系甕で、11には沈線外列点文、12には2条列点文、13・14には1条列点文が施文されている。

前期末葉の十三塚東D式に位置づけられるものには、1・3～7・9・11がある。4のようなタイプの丸底鉢は東北中・南部に分布し、縄文晩期後葉～弥生前期末葉の時期に組成するもので、大坂拓氏(2012a)は「南部型丸底鉢」と命名している。この南部型丸底鉢が十三塚東D式の時間軸のなかでどのように位置づけられるのか、ここで多少検討してみる。先行研究によれば、前期末葉の土器群は

2 時期に細分する傾向にあり、佐藤祐輔氏 (2008) は、東北北部では砂沢 (古) 式→砂沢 (新) 式、北上川流域では山王Ⅳ上層式→青木畑式、庄内平野では生石 2 C 式→生石 2 B 式、東北南部では松ヶ作 A 遺跡→御代田式の変遷案を示し、それぞれが並行関係にあるとする。十三塚東 D 式の土器型式編年上の位置は、仙台平野では郡山→十三塚東 D 式の編年案 (大坂 2012b) が提示されていることや、磨消縄文手法の普及度あるいは上下交互挟り手法の共有性 (註 2) からすると、前期末葉でも新段階と考えられる。前期末葉段階での南部型丸底鉢の位置づけは、大坂拓氏 (2012a) によれば古段階 (北柳Ⅱ段階) までのものが例示されており、各地域で新段階まで下るものは現状では確認されず、変容形に置き換わるようである。十三塚東 D 式に南部型丸底鉢が組成することになると、細分型式が 1 段階古くさかのぼるため、当該地域の弥生文化導入時期との関わりからも見過ごせない検討課題を提起する。このことについては、十三塚遺跡の弥生土器全体を対象とした型式学的分析による見直しが必要となろう。

5～7 は磨消縄文構成をとる文様で、5・7 は三角組合せ文である。このうち 5 は大・小の三角文が組むもので、仙台平野では類例が少ないが、この手の文様は東北中・南部地域、特に福島県域を中心として分布しており、前期末葉の時期では、福島県鳥内遺跡 17 号土壙・油田遺跡 338 土壙・西麻生遺跡、山形県上竹野遺跡 S T 202・808 竪穴住居跡・岡ノ台遺跡、新潟県山口遺跡などで、中期前葉では宮城県鱸沼遺跡、福島県宮崎遺跡・今和泉遺跡・孫六橋遺跡・岩下 A 遺跡で確認されていることから、前期末葉～中期前葉の時期幅をもっている。十三塚遺跡の三角組合せ文土器は、型式学的に中期前葉の原式よりは古い様相を呈しており、東北南部の御代田式の影響のもとに成立して型式変化を遂げた一群と考えられる (相澤 2023 大友・相澤 2025)。6 は対称形のヒトデ状文を 4 単位配置するが、これは磨消工字文・三角文へと変化する過程の文様ともいえる。9 の遠賀川系壺口唇部への沈線施文や 11 のようなタイプの沈線外列点文は、いずれも前期末葉の時期にみられる属性である。

2a・b・8 は中期前葉の原式に比定されるもので、2a・b には 2 条一対の沈線で直線的に描く変形工字文が、8 は変形工字文系の磨消縄文文様と推定され、沈線の細線化、縄文の細密化が進んだもの。

10・12～14 は十三塚東 D 式～原式にわたってみられる文様や形状を持つため、いずれの時期とも判断しがたく幅をもってしておく。

15～21 は中期後葉の十三塚式に比定される土器群をまとめた。15・16 は 1 本描きで文様を描くもので、15 は鉢の口縁部に三角組合せ文、16 は長頸壺の頸部に連子文が施文される。17～21 の文様は 2 本同時施文具を用いており、線間が狭いもの (17～19) と広いもの (20) に分けられる。18・19 には連弧文がみられる。十三塚式は 3 時期 (相澤 2013) ないし 4 時期 (小玉 2019) に細分されており、これらの編年案に基づけば 15・16・20 は、その第 1 期に位置づけられる。そのほかについては、それ以後の時期としておく。

4. まとめ

本報告の東 D 区では、全体の出土量からみればわずかではあるが原式土器を確認した。近年の十三塚遺跡の発掘調査では、南北に細長い小丘陵 (東尾根) を挟んで北西側斜面 (東 D 区) に対してその北東側斜面にも小規模な遺物包含層が形成されており (大村・相澤 2024 大友・相澤 2025)、ここでも原式土器が出土している。十三塚遺跡の初期弥生土器は、前期末葉から中期前葉まで継続するものの、原式になると出土量が極端に減少する傾向にあることは留意しておきたい。

先の概報では中期後葉の十三塚式土器も出土しているとの記載があったが、実資料は提示されていなかった。今回、その標式土器を公表できたことは、今後の調査研究にいくばくでも寄与できるのではないかと思う。

【謝辞】

本報告にあたっては、下記の方々からご教示、ご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。

太田昭夫、大坂 拓、佐藤信行、佐藤祐輔、三浦一樹

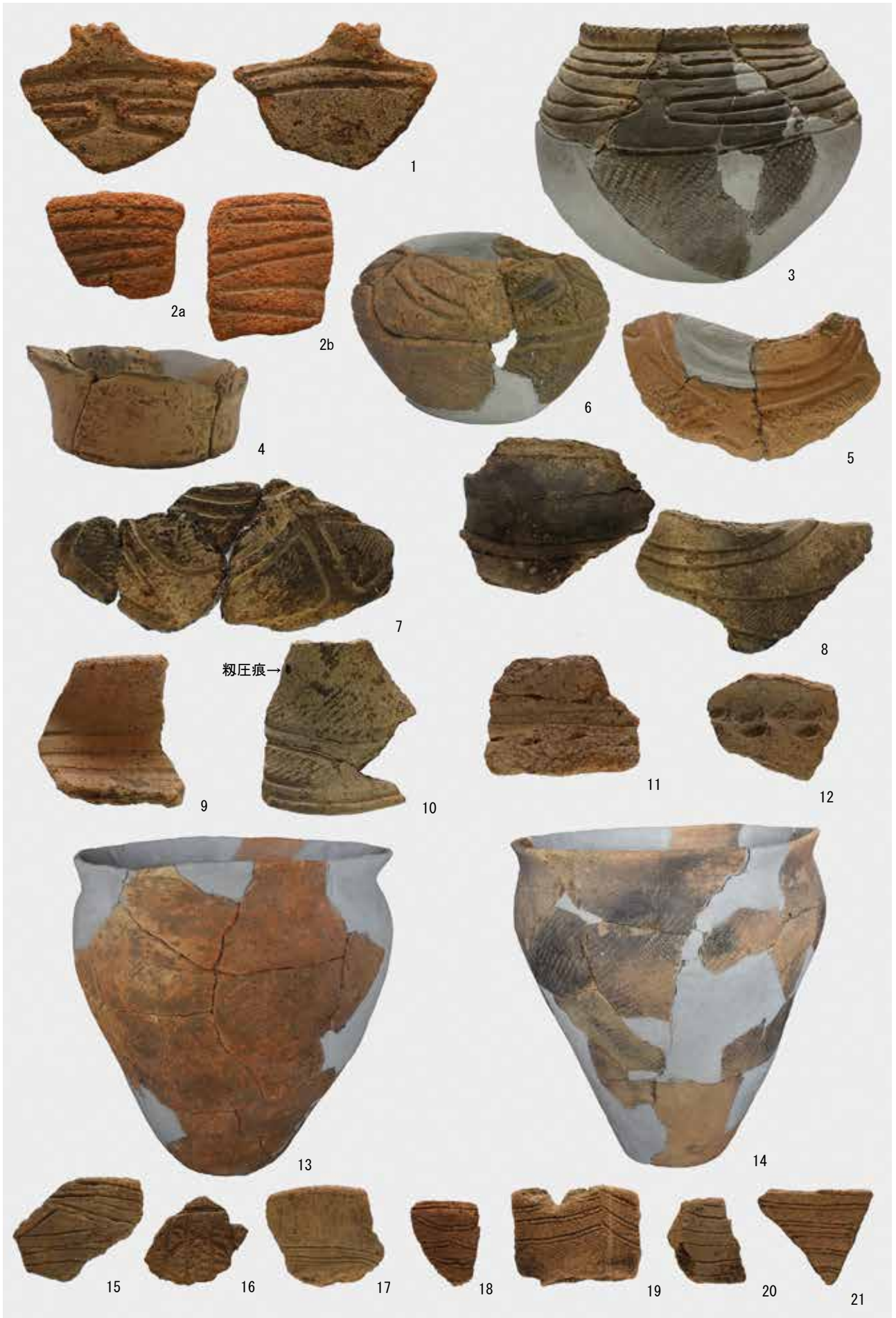
本稿の執筆・編集は相澤清利が、資料整理・実測図作成・トレースは、相澤・佐藤友希（名取市教育委員会文化・スポーツ課文化財係）が担当した。

註1 本資料は、十三塚遺跡東D区出土の未報告土器（破片資料8,255点）を対象としたレプリカ法による土器圧痕調査のさいに抽出したもので、「宮城県大崎平野における縄文・弥生移行期の土器圧痕レプリカ調査の成果」『日本考古学協会2023年度大会ポスターセッション』のなかでSEM画像が掲載されている（佐藤祐輔ほか2023）。

註2 佐藤祐輔氏（2009）は、変形工字文の属性の1つとして「上下交互抉り手法」を取り上げており、この手法がとられている土器型式として生石2B式、青木畑式、そして十三塚遺跡東D区出土の土器を類例として示している。

【引用・参考文献】

- 相澤清利 2013「東北地方南部の平行沈線文系土器と十三塚式土器」『靱』第9号 弥生時代研究会
- 相澤清利 2022「名取市十三塚遺跡出土の遠賀川系壺再報告」『名取市歴史民俗資料館年報－令和3年度－』
- 相澤清利 2023「名取市飯野坂遺跡採集の弥生土器（1）」『名取市歴史民俗資料館年報－令和4年度－』
- 相澤清利 2024「名取市飯野坂遺跡採集の弥生土器（2）」『名取市歴史民俗資料館年報－令和5年度－』
- 阿部健太郎ほか 2007『油田遺跡』会津美里町文化財調査報告書第2集
- 荒谷伸郎ほか 2010『山口遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第215集
- 石川日出志 2003「福島市孫六橋遺跡出土弥生土器の再検討」『福島考古』第44号
- 石川日出志 2005「仙台平野における弥生中期土器編年の再検討」『関東・東北弥生土器と北海道続縄文土器の広域編年』
- 恵美昌之 1979『十三塚遺跡－昭和53年度遺構確認調査報告－』名取市文化財調査報告書第6集
- 大坂 拓 2012a「本州島東北部における初期弥生土器の成立過程－大洞A式土器の再検討と「特殊工字文土器群」の提唱－」『江豚沢Ⅰ』
- 大坂 拓 2012b「仙台平野の弥生土器」『特別企画展 発掘富沢－30年のあゆみ－』地底の森ミュージアム
- 太田昭夫 1979「宮城県名取市十三塚遺跡出土の弥生土器」『靱』創刊号 弥生時代研究会
- 大友 透・福山宗志 1997『原遺跡－県道名取村田線改良工事関係発掘調査報告書－』名取市文化財調査報告書第38集
- 大友 透・鶴崎哲也 2000『原遺跡－カインズホーム名取店建設用地関係発掘調査報告書－』名取市文化財調査報告書第44集
- 大友 透ほか 2002『原遺跡－ダイエー名取店建設用地関係発掘調査報告書－』名取市文化財調査報告書第48集
- 大友健太郎・相澤清利 2025「十三塚遺跡」『令和5年度名取市内遺跡発掘調査報告書』名取市文化財報告書第81集
- 大村周一・相澤清利 2024「十三塚遺跡」『令和4年度名取市内遺跡発掘調査報告書』名取市文化財報告書第80集
- 小滝利意 1960『今和泉』会津史談会
- 小玉秀成 2019「弥生時代中期後半における同心円文・渦巻文系土器群の広域編年」『福島考古』第61号
- 佐藤祐輔 2008「東北地方南部における砂沢式並行期の土器について」『第6回 弥生時代における砂沢式土器の諸問題－資料集－』海峡土器編年研究会
- 佐藤祐輔 2009「生石2B式と青木畑式」『地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告2008』
- 志間泰治 1971『鱸沼遺跡』
- 周東一也 1977『岩代国宮崎遺跡』金山町教育委員会
- 菅原哲文ほか 2019『上竹野遺跡第1・2次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第234集
- 中村五郎ほか 1980「北会津村西麻生遺跡A地点出土の弥生土器」『福島県考古学年報9 資料集3』
- 名和達朗ほか 1994『岡ノ台遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第15集
- 福山宗志 1995「文化財資料整理事業 十三塚遺跡」『平成6年度年報』名取市文化財調査報告書第36集
- 松本 茂 1988「岩下A遺跡」『真野ダム関連遺跡調査報告書XⅠ』福島県文化財調査報告書第193集
- 目黒吉明ほか 1998『鳥内遺跡発掘調査報告書』石川町埋蔵文化財調査報告書第16集



写真图版 十三塚遺跡弥生土器

名取市歴史民俗資料館年報 —令和6年度—

発行：名取市歴史民俗資料館
〒981-1224
宮城県名取市増田一丁目7-37
TEL022-724-7935/Fax022-724-7936
URL：<https://natori-shiryokan.jp/>
発行日：令和7年11月30日

印刷：株式会社ペナントコーポレーション
〒981-1236
宮城県名取市愛島小豆島字末無窪71-6

